

・2022年度機械クラブ活動計画と実績

2022年12月3日

- 【基本方針】
1. 同窓会活動の積極的推進
 2. 母校・KTCとの連携強化
 3. 組織の若返り・活性化活動の展開

部 会	2022年度活動計画	2022年度活動実績
総務・HP	<ul style="list-style-type: none"> ・学生自主活動支援(フォーミュラ・レスキューロボ) ・メールアドレス登録の促進 各クラス会の開催促進と代表を通じてアドレスの更新 2015年12月1594名(26%)⇒2023年3月33%以上を目標 ・各クラス同窓会開催支援: <ol style="list-style-type: none"> ①連絡先の情報提供 ②テレ会議システム活用 ③同窓会の開催報告のホームページへの掲載 ・テレ会議システム(Zoom)の活用(会議、クラス会ほか) ・工学部 100周年記念行事への参画 <p style="margin-left: 20px;">具体的な行事内容により、参画方法を決定する</p> ・機械クラブとKTCの関係を説明し年会費への理解と協力をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生自主活動支援(フォーミュラ)に献金ファンドの参加 ・メールアドレス登録の促進 各クラス会の開催支援 <ol style="list-style-type: none"> ① 連絡先の情報提供 ② テレ会議システムの活用促進 ③ 同窓会の開催報告のホームページへの掲載、 ④ 同期会の思い出、教官の思い出のホームページへの掲載 ・工学部 100周年記念行事への参画 ・一斉メール配信ソフトの調査
財 務	<ul style="list-style-type: none"> ・春と秋の機械クラブだよりにあわせて年会費納入者名簿を作成する。 ◇春(21号)は2021年の年会納入者 機械クラブだより21号の別冊では前号でも案内した、ゆうちょ銀行が「加算料金」を新設し、徴取が始まったその内容の説明を1ページ目に記した。 ◇秋(22号)は2022年の年会費納入者の中間報告 ・コロナがおさまり、親睦会、見学会等が行える世の中になり、年会費の納入が低調な場合は年会費のお願いメールの発信を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機械クラブだより22号別冊の2022年の年会費納入者の中間報告作成。 その後の変化(11月12日現在) <li style="padding-left: 20px;">年会費納入者数 381名⇒402名 <li style="padding-left: 20px;">寄付者数 10名⇒14名 <li style="padding-left: 20px;">寄付額合計 118,000円⇒162,000円 いずれも予算年会費504名、寄付300,000円を未達。 ・その他収入・・・KTC入会協力金 135000円(54/105) ・主な支出関係 <ul style="list-style-type: none"> ・母校支援・・・520,000円(予算どおり) ・新入会員歓迎記念品・・・200,145円(予算内) ・機械クラブだより印刷費・・・286,000円(秋の22号は値上がり8%[次期はさらにUPの通告]) ・親睦会の支出なし ・コロナ禍であり年会費納入のお願いメールは発信は差し控えた。
機関誌	<ul style="list-style-type: none"> 下記原稿の編集 ・機関誌95号(2022年9月) ・「機械クラブだより」第22号(2022年9月) ・機関誌96号(2023年3月) ・「機械クラブだより」第23号(2023年3月) 課題:部会員人数増と「機械クラブだより」の編集企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌95号(2022年9月)機械クラブ報告 ・「機械クラブだより」第22号(2022年9月)を編集、発行した。 ・機関誌96号(2023年3月)の編集、 「わが社の技術」は住友ゴムに依頼 ・「機械クラブだより」第23号(2023年3月)の作成

部会	・2022年度活動計画	2022年度活動実績
講演会	<p>先輩は語る」4月27日 or 5月11日(水) 8:50～ 講師: 佐藤 有香理 氏(キャタピラ)(予定) 同時開催: 学生の国際活動報告</p> <p>・「機械工学先進研究」10月29日(土) 講師: 菅野 公二 教授 同時開催: 学生フォーミュラ, レスキューロボ活動報告</p> <p>・「若手研究者は今」12月3日 or 10日(土) 11:30～ 講師: 石田 駿一 助教(予定)</p>	<p>・「先輩は語る」5月11日(水) 8:50～ 講師: 佐藤 有香理 氏(キャタピラ) 題目: 新入生に伝えたい3つのこと 同時開催: 学生の国際活動報告</p> <p>・「機械工学先進研究」10月29日(土) 講師: 菅野 公二 教授 題目: 光ナノテクノロジーが実現する高感度センシング技術</p> <p>・「若手研究者は今」12月3日(土) 15:50～16:50 講師: 石田 駿一 助教 題目: 生命現象の理解に向けた生体内流れの数</p>
見学会	ワクチン接種2回目迄は進展したが、コロナ感染終息目処たらず、2022年度も開催見送りの予定。	2022年度開催見送りの為、活動無し。
会員親睦	<p>第182回: 04/08 東条・宇城コース 第183回: 07/08 東条・大蔵コース 第184回: 10/14 東条・東条コース</p> <p>目標: 参加者数 15。 ・若手OBへの部会参加声掛け ・HC見直し年度で、後期高齢者の奮起に期待</p>	<p>第182回: 参加者 17名、優勝者/菅野俊氏 第183回: 参加者 17名、優勝者/岩出知之氏 第184回: 参加者 12名、優勝者/長谷川圭氏</p> <p>・参加者数は若返りもあって、充実傾向にある。 ・夫人参加で親睦を深め、かつ充実の兆し *参考: 次年度は4/14, 7/14, 10/13で計画</p>
座談会	<p>・2021年度中止になった両座談会を2022年度にスライドした計画とする。</p> <p>・第8回基幹座談会「学生時代と社会人生活を語る座談会」を2022年5月中旬、コロナ禍が収束する前提で、工学部で開催予定。(Web方式も検討) 当該回生出席予定者: 10数名</p> <p>・第6回「機械技術者生活を語る座談会」を2022年10月にコロナ禍が収束する前提で、工学部で開催予定。(Web方式も検討) 話題提供者: 2~3名: 学生出席予定者: 26名程度の予定。</p>	<p>① 第8回基幹座談会を今年度中に開催する方向で、座談会部会の幹事会を対面方式で2回開催(9/18, 10/16)</p> <p>・12月17日(土) 13:30～17:30 工学部本館にて下記要領にて開催予定 ・(対面方式+Zoom方式)によるハイブリット方 ・OBによる話題提供「(仮題)最新の自動車の自動運転技術の動向について」と意見交換 ・対面での募集人員: 20名程度</p> <p>② 「第6回機械技術者生活を語る座談会」は、2022年度は、延期</p>
クラブ精密	クラブ精密は、コロナのため本年度例会は延期の予定。	コロナ精密は、コロナのため会合未定。
東京支部	<p>・コロナの状況にもよるが、幹事会はなるべく対面での実施を追求していく。対面での実施が難しい場合は、21年度と同様にメールを活用した方式で行う。</p> <p>・東京支部総会についても、可能であれば例年通りに7月に実施を計画するが、コロナの状況を注視しながら状況に応じて対応する。</p> <p>・東京支部見学会もコロナの状況次第であるが、オンライン(ZOOM活用)での講演会も検討していく。</p> <p>・新年会も可能であれば実施したい。</p>	<p>・東京支部幹事会を5月24日(火)に実施した。久しぶりの対面での実施で、今年度の活動予定等を検討することができたが、コロナの状況を見ながら進めることになった。</p> <p>・東京支部総会を開催する方針であったが、今のところまだ開催はできていない。</p> <p>・KTC東京支部の総会が10月6日(木)に開催され、幹事が参加した。一般会員の参加はなく、コロナの状況がまだ難しいことを実感した。</p> <p>・年明けに再度幹事会(兼新年会)を実施予定。</p>
理・代会	<p>第1回理事・代表会 6月4日(土)予定 第2回理事・代表会 12月3日(土)予定</p>	<p>第1回理事・代表会 6月4日(土)実施 第2回理事・代表会 12月3日(土)の予定</p>
総会	2023年3月24日(金)予定	2023年3月24日(金)予定。

その他

卒業生 8350名 現存会員数 6520名 物故者 1830名
メールアドレス登録者数 2114名(32.4%)